

未来に輝く、カッコ良い中央小っ子を育てるグランドデザイン2022

稚内市立稚内中央小学校

宗谷管内教育推進の重点

資質・能力を確実に育成する学力保障
OVER 70の実現 12年間継続する学力保障

1 授業改革 ~資質能力の確実な育成
4 働き方改革~学校本来の役割

2 学校経営 ~教育課程を決める
5 小中高12年~小・中・高も連続性・継続性

3 検証改善~OVER 70

校訓

まこと

明治42年8月制定

教育目標 (めざす学校像・子ども像)

ウィズコロナ・ポストコロナにおける、つながりあい、学び合い、笑顔あふれる学校を創造する

- かしこい子~自ら学びかしこい子どもの育成
- 思いやりのある子~心豊かで思いやりのある子どもの育成
- たくましい子~健康で心身ともにたくましい子どもの育成

学校課題 主体的に考え、ともに深め合う、未来を生きる子どもの育成

研究主題 自分の考えをもち、相手に伝えて、考えを広げ深める授業の追求

重点目標 みんなの力で、一人一人に自ら学ぶ意欲・喜び、確かな学力と豊かで逞しい心、大きな自信を育てる！
~みんな「ま」じめに、「こ」つこつ、「と」りくみ、自信と笑顔あふれる中央小っ子育ちの実現を~

- 保護者の願い
- 教師の願い
- 地域の方々の願い
- 教育関係者の願い



中央小マスコット「ダボット君」



■「中央小の教育2022」の充実を図るキーワード

カあわせ

■児童・教師・家庭・地域・幼保・中・教育関係者、全ての人の「カあわせ」で創造する「中央小の教育」

かしこい子をめざして OVER 70を実現する授業改革に取り組む

- どの子にも「わかる・できる」喜びと学力を育てる授業改革に取り組み、未来に生かせる確かな学力(学力保障)を確実に育てる。
→「中央式学び合い」とICT等の効果的な活用で、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを進める。
→授業改善の「5つのポイント」を取り入れ、特に「まどめ」「振り返り」を重視したタイムマネジメントを確実に組み込みながら、学びの定着を図る。
→「中央小のまこと」を活用し、学習の基盤である学習規律を全ての学年で継続(定着)させる。
- 学習内容の補充(学びの保障)により、確かな定着と学びへの自信を育てる。
→「学びタイム」の活用、家庭学習メニュー・家庭学習キャンペーンの実施。
- 一人一人の「読み取る力」・「伝える力」の育成を進める。
→「読書の時間」の充実、ブックランドの活用、教科書等の読みの充実。
→児童会活動等の話し合い活動を通じて、自分で考え、自分の考えを相手に伝える活動を推進する。
- 短いスパンでのきめ細やかな学習評価サイクルを進め、弱点の把握を的確に行い、個別最適な学びと協働的な学びを積極的に取り入れ、その弱点克服のための学習改善・授業改革に積極的に取り組む。

思いやりのある子をめざして 人との関わりを通してつながる力の育成

- 大きな自信を育てる教育活動を推進する。
→学級内、学年を超えた子ども同士の関わり合いを通じて、互いに良さを認め合い、思いやりを持って励まし合える、リーダー性と信頼感にあふれた学級集団・児童集団づくりを進める。
→3「あ」運動(あいさつ・あんぜん・ありがとう)の推進で感謝と思いやりの心を育てる。
- 特別支援教育への理解を深め、適切な指導に努める。
→障害理解、UDを取り入れた教育環境づくりを進める。
→教育支援委員会の機能を生かした、組織的な支援を進める。
- 高いアンテナを持ち、子どもの変化に気づく目と危機管理意識を持つ。
→「自分も相手も大切に」人権教育を推進する。
→子ども同士の関わり合いを通じて、「いじめはあってはいけない」という強い心を育て、明るく楽しい学校を創ろうとする態度を育成する。
- ふるさと稚内への自信と誇りを育てる「ふるさと教育」「キャリア教育」を推進する。
→「総合的な学習」の時間の精選や小中9年間の系統性・系列性を図り、稚内を知り、学び、体験し、そして発信する活動へと進化させる。

たくましい子をめざして 連携を通じて、自律の力の育成

- 家庭と連携した、望ましい生活習慣の確立とメディアに流されない強い心と健康な体づくりを進める。
→「早寝・早起き・朝ご飯」「スマホやゲームは2時間以内」「メディア使用の3つの約束」を徹底する。
- 望ましい食習慣や健康的な生活を送ろうとする実践力を育てる。
→食育指導・給食指導・保健指導の充実を図る。
- 運動能力や体力の向上を図る体づくり(体育指導)を進める。
→課題である持久力を高めるマラソン等を授業等に位置づけ取り組む。
- 外での遊びや徒歩通学を推奨し、日常的な体力づくりを推進する。
- 新しいことへの挑戦と、最後まで諦めずしっかりやり切る指導を徹底させながら、生きていく上で必要な逞しい心と大きな自信を育てる。

WCSビッグチャレンジプラン2022

学力向上編

1. 学習規律「中央小のまこと」を身につけ、落ち着いた学習環境を創る。
2. 「わかる・できる」喜び・意欲・自信を育てる授業改革に取り組む。
3. 『学びタイム』の活用、「Sサポート」「Sトライ」等への挑戦で学習内容の確実な定着を図る。
4. 家庭学習の定着と内容の充実を図る。
5. 「ふれあい期間」等の教育相談活動を通じて、子ども達の意欲向上に努める。

心体向上編

6. 中央小『3「あ」運動(あいさつ・あんぜん・ありがとう)』を推進する。
7. 元気に過ごすための「生活リズム」「体力づくり」に取り組む。
8. 児童会活動等における話し合いを通じて、自ら考え実行できる力を育てる。
9. 小中とつながる「キャリア教育」『ふるさと学習』に取り組む。
10. 新しい学校づくりに向けた、学校間連携、家庭・地域との連携を充実させる。

北地区幼保中・各町内会・北地区子育て連絡協議会・北地区子ども育成連合会・各教育関係機関との連携で学校力の向上をめざす

チーム中央小をめざして 各ブロック、各分掌の機能を生かした組織改革(全員が部長)と職場づくり

- チーム力を生かした学校運営を充実させる。
→企画会議の充実により、迅速に動ける意思決定サイクルを充実させ、中央小学校らしい機能(チーム力・カあわせ)を活かした教育活動の推進を図る。
→研修活動を充実させながら、チーム力を活かした子どもの未来保障を実現させる。
→日常観察や教育相談、各種アンケートを通じて子どもの変化を掴み、実態に即した教育を進める。
- 働きやすい職場づくりと教育の質を向上させる働き方改革を推進する。
→コアチームを中心とした働き方改革の推進。→各分掌の業務改善・役割分担

ぬくもりと潤いのある家庭づくりをめざして 子育ての学び合いを通して家庭の教育力の向上を

- 子育ての学び合いで一致点を作りながら、ぬくもりのある家庭づくりを支援する。
- 中央小がめざす「子ども像」実現のため、生活リズムの見直し・定着を家庭との協力で実現する。
- 「ふれあい期間」を通じた相互理解を深め、ともに子育てに向う関係づくりを築く。
- 学級PTA活動を通じた親同士の学び合いを推進し、子育てへのやりがいと自信につなげる。
- メディア使用の「3つの約束」の大切さを理解し合い、家庭との協力で実現する。

(メディア使用「3つの約束」)

- 勉強中はスマホ・ゲームをそばに置かない。(置き場所を決める。)
- ネット環境を使用するメディア(特にオンラインゲームやSNS)は、低学年夜8時、中学年夜8時半、高学年夜9時にはメディアの使用を中止する。(終了時刻を決める。)
- 就寝時はスマホ・ゲームを寝室に持ち込まない。(置き場所を決める。)